

東京市ノ特別税トシテ土地増價税
及ヒ財産税ヲ設定スヘシ

我カ東京市ハ其自治財源、豊富ヲ求メサル
ヘカラサルノミナラス又其都市經營ヲ張
ル爲ノニ市債ヲ起ササルヘカラス乃テ市債
ヲ起サント欲セハ必ス先ツ其公債費即ケ
元利支拂財源ヲ明カニスルヲ要ス是レ今日
ニ於テ東京市特別税ノ規模ヲ立テサルヘカ
ラス

ト云フ所以ナリ而シテ我カ日本ノ首府
トシテ新タニ設定スヘキモノハ蓋シ土地增
價税及ヒ財産税ナルヘキカ

都市租税ノ根本政策三アリ第一ハ自治體ノ
爲メニ收入ヲ得ルコト是レナリ第二ハ此ニ
由リテ社會政策ノ功ヲ奏スルコト是レナリ
第三ハ此ニ由リテ市街経畫及ヒ市民經濟上
利ヲ資クルコト是レナリ而シテ土地増價

税及ヒ財産税、二者ハ則チ租税中最モ此要件ヲ具備スルモノタリ

土地増價税 *Wertzuwachssteuern*ハ本來都市自沿體、好財源ナリ此租税ハ一定年月日ニ於ケル土地ノ價格ヲ基準ト爲シ五年十年若クハ十五年毎ニ其價格ヲ評量シテ其、自然的増價ニ對シテ課税スルモノニシテニ割乃至二割五分ヲ徵收スルヲ以テ常ト爲ス其理由ニ

曰ク土地カ所有主ノ加工又ハ新タナル投資ニ由ラスシテ猶ホ能ク其價ヲ貴クシタルハ全ク其、社會ノ力ニ是レ賴ル地主カ他、力ニ賴リテ贏チ得タル偶然、利得ハ彼獨リ之ヲ專ラニスルノ理ナク須ク其一部ヲ社會ニ貢獻セシムヘシト且此租税ヲ設定スルトキハ以テ能ク土地投機及ヒ兼併又ハ買占メノ弊ヲ防止スルヲ得ヘシ

此租税ヲ設定スルモ其初メニハ収入アル無
ク唯定期評量ノ中間ニ於テ賣買讓與スル者
ニ就テ其々ノ規定ヲ設ケテ之ヲ逋脱スルヲ
得サラシム然レトモ五年又ハ十年ヲ經テ後
ハ此租税ハ最モ彈力ニ富ミ且確實ナル財源
タルヘシ

今日英吉利其他ニ於テ土地増價税ヲ國税ト
シテ設定スル處アリト雖モ此租税ノ性質上
最モ地方自治體ノ財源タルニ適當ス

租税史ニ依レハ獨逸ノフランフオルトドル
トムンドゲルゼンキルヘン等諸市先ツ自治
財源トシテ之ヲ徵收シハムブルグリユーベ
ツクリツペ等亦地方税トシテ之ヲ設定シタ
ルニ鑒ミテモ其概要ヲ知ルヘク今日地租ヲ
地方税タラシメントスルノ時ニ當リテ土地
増價税ヲ國税ト爲スハ甚タ當ラス且此租税

ニ依リテ社會政策又ハ都市經畫上、功益ヲ
收メ得ヘキ處、自ラ限リアリ只我カ東京市
ノコトキ處ニ於テノミ能ク其功ヲ全クスル
ヲ得ヘシ

財產稅 Vermögenssteuer、財產ヲ以テ課稅、標準
ト爲シ其所有者ニ賦課スルモノニシテ一定
ノ住宅家屋倉庫庭園等ニ課稅シ時ニ貴
重品美術品所有者ニ課稅スルヲ妨ケス此租

稅ハ本來補助稅ナリ抑モ租稅ハ負擔能力ニ
應シテ之ヲ徵收スルヲ原則トシ主トシテ其
所得收益ニ對シテ課徵スルモ所得稅法其他
ノ稅法、適要自ラ限リアリ强大ナル負擔能
力ヲ有スル者ニシテ比較的ニ寡キ租稅ヲ納
メテ已ムモ、ナキニアラス乃チ其負擔、衡
平ト租稅制度、確實トヨ保ツ爲ノニ此財產
稅ヲ課スルモノトス

今日我カ東京市内ニ大厦高樓ヲ有シ其庭園ノ廣大ヲ誇リ別荘控郎ノ多キヲ銜フ者アリ此種ノ財産ヲ所有シ且支持スル者ハ則チ其收入ノ多キヲ自證スルモノタルヤ論ナシト雖モ之ヲ所有シ之ヲ支持スル者、所得税其他ノ納税額ハ必スシモコレト比準セス即ケ是レ諸税法ノ缺陷アルヲ示スモノタリ且是等所有者支持者、則チ奢移贅澤ニ流ル、ノルニ足ルヘシ

徒ナリ此ニ重税ヲ課スルハ以テ租税逋脱ノ弊ヲ防キ一ハ以テ其奢移贅澤ヲ戒シム目下・税制整理委員會ハ財産税法ニ就テ調査研究中ニシテ異論百出、態ナリト云・フ同案ハ蓋シ所得税ノ補助税トシテ之ヲ設定スルモノナルヘク一般的國税トシテ之ヲ賦課スルトキハ則チ幾多、難問題ヲ生スヘキ

ヤ勿論ナリ然レトモ若シ其ヲ東京市ノ特別
税トシテ之ヲ徵收シ大凡東京市ノ住民タル
者ニ其ノ財産ノ郡部又ハ山間海岸ノ別荘地
在ルモノヲ綜合シテ其租税ヲ負擔セシムル
トキハ課税ノ理由單純且明白其賦課徵收モ
亦甚タ容易ナルヘシ財産税ハ富豪者及ヒ贊
澤階級ニ課スル租税ナリ輪奥ノ美ヲ誇リ園
池ノ大ヲ術ノ者ニ對シテ徵收スルモノナリ

財産所有者固ヨリ其負擔力甚タ饒力ナリ併
ナカラ若シ其負擔ヲ欲セスンハ自ラ其贊澤
生活ヲ改メテ質素儉約ヲ旨トシ無用ノ大厦
高樓ヲ撤シ無益ノ庭園遊戯地ヲ廢シテ之ヲ
住宅商店又ハ工作場タラシムルニ若カヌス
斯クテハ租税收入ヲ得ル能ハサレトモコレ
ト同時ニ都市ノ經營ヲ利シ及ヒ一般市民ノ
便益ヲ増進シ得ヘクシテ大局ヨリ之ヲ觀レ

其、都市ヲ利スルコト租税收入ヲ得ルヨリモ遙カニ大ナリ

以上述フル所テ以テスレハ土地増價税及ヒ財產税ハ我カ東京市ノ財源トシテ最良ノ租税タリ併ナカラニ就テ第一ニ立法上ノ困難アルコト第二ニ實行上ノ困難アルコトヲ考慮セサルヘカラス

土地増價税ト曰ヒ財產税ト曰フ共ニ社會政

策的色彩アマリニ濃厚ナル爲メニ富豪者資本家階級ニ屬スル者甚タコレヲ喜ハス政府モ立法部モ此ニ度顧慮シテ狐疑猶豫スルノ情ナキ能ハス我那日本ニ於テ若シ國税トシテ之ヲ設定セント欲セハ其ノ困難ナルハ勿論ナリ併ナカラ其ヲ一般的の國税ト爲サヌシテ專ラ都市ニ於ケル特別税ト爲シ法律ハ其ノ課税物件税率及ヒ徵收方法ニ關スル通則

ヲ定ムルニ止メ其ヲ施行スヘキ都市ハ或ハ
法律ヲ以テ之ヲ指定スルモ可ナリ或ハ都市
自治機關ノ決議ニ基キ勅令ヲ以テ之ヲ指定
スルモ亦可ナリ此種ノ租稅法ヲ制定スルコ
トハ到底困難ヲ免カレサレトモ一般的國稅
トシテ之ヲ設定スルニ比スレハ都市特別稅
法トシテ立法部ヲ通過スルハ蓋シ容易ナル
ヘシ

土地増價稅法ヲ施行スルニ當リテ其土地ノ
價格ヲ評量スルコト財產稅法ヲ施行スルニ
當リテ其ノ財產ノ價格ヲ評量スルコトハ決
シテ容易ノ業ニアラサルナリ故ニ土地財產
ノ價格ヲ評量スル爲メニ専門委員ヲ設クル
ノミナラス陪審ヲシテ其事ニ與カラシムル
コトアリ又一定ノ基金ヲ準備シ若シ所有者
ニシテ其評量ヲ肯セサルトキハ其評量價格

ヲ以テ之ヲ買收セシムルノ方法ヲ設ケルノ
必要アルヘク之ヲ實行スルニ當リテ幾多ノ
困難ニ遭逢スルヲ避ケヘカラサレトモ當事
者此ニ慣熟シ所在人民亦此制度ニ親シニ
從テ其困難ヲ輕減シ得ルヲ疑ハス

編
四
周
之
也